

基本目標1：リニアインパクトを見据えた地域活性化・経済発展の実現

基本的方向							
令和9年(2027年)のリニア中央新幹線の東京・名古屋間の開通を見据え、国内外から多くの人が本市に訪れ、本市に関心を持つ環境を整備することで、まちのさらなるにぎわいを創出する。 新たな産業の創出と事業者の育成を支援するとともに、農商工業の活性化を促進する。							
指標[単位・方向性]	基準値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R6)
魅力ある商店や企業が多いと感じている人の割合[%・↑]	42.9	44.4	43.9	44.4	44.3		45.0
1日当たりの鉄道駅乗降客数[人/日・↑]	54,077	42,679	45,210	48,566	51,189		54,500
達成状況と今後の方向性							
基本目標全体の成果動向は「横ばい」と評価する。 指標「魅力ある商店や企業が多いと感じている人の割合」については、前年度と比較して微減したものの、基準値からは改善している。市内小規模事業者キャッシュレス決済ポイント還元事業を通じて、市内の店舗の利用が促進されたと考えられる。 指標「1日当たりの鉄道駅乗降客数」については、基準値より低下しているものの前年度に比べて大幅に増加しており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の水準に戻りつつある。 太田川駅西地区への大型の物流企業や商業店舗の進出が決定し、西知多道路の高規格化が進むなど、本市の立地ポテンシャルは着実に高まっているなか、「ひかりの観光資源創出事業」や「工場夜景観光促進事業」などといった東海市らしさを生かした「にぎわい創出・交流人口の拡大」を図るとともに、かんきつ(夕焼け姫)の産地化・ブランド化を推進するなど、本市の魅力向上と情報発信を行いながら、本市の更なる活性化につなげていく必要がある。							

-	具体的施策	指標(KPI)[単位・方向性]					R5に実施した主な事業	
	施策の方向性	R4	R5	R6	目標値 (R6)		(凡例 ★:地方創生関係交付金充当事業)	
①	適正な土地利用計画の推進	住居、農地、店舗、工場などが整然としていると思う人の割合 [%・↑]						
	地域特性に応じた土地利用を誘導し、良好な都市環境の形成により、まちの活性化と新たな雇用促進につなげる。 鉄道駅周辺では、それぞれの地区の特性に応じて、居住、商業、医療をはじめ、市民の生活を支える多様なサービス等の都市機能の充実により若者から高齢者までだれもが住みたい・訪れたいと思うまちづくりを進める。	61.5	63.5	62.1	63.6	64.0		(1)加木屋中部土地区画整理事業 加木屋中部土地区画の整備を主体に、住居・商業・医療の複合利用を主体に、住居の多い住環境の創出を図る。
		鉄道駅の概ね1km圏内の人口 [人・↑]						(2)太田川駅西土地区画整理事業 太田川駅西地区のまちづくりを推進する。令和5年度（2023年度）末の事業進捗率は91.7%。
②	地域資源を生かしたにぎわいの創出	市内宿泊施設の宿泊者数 [人泊/年・↑]						
	令和9年(2027年)のリニア中央新幹線の開通による社会・経済環境の変化を見据えつつ、中部国際空港を生かしたインバウンド等の観光推進に向けて、観光協会や近隣市町と連携を図り、工場夜景などの地域資源を生かした観光事業に積極的に取り組む。 市の玄関口である太田川駅周辺のイベント広場、芸術劇場、飲食店などの事業所の連携を深め、各施設間の回遊性の向上や魅力あるイベントを開催し、市民をはじめ、国内外からの観光客によるにぎわいを創出する。	176,814	159,680	223,693	249,025	251,696		(1)観光イルミネーション補助事業 多くの観光客を誘致するため、ふるさと大使の芦木浩隆氏プロデュースによるイルミネーションを太田川駅前広場で実施した。今後も魅力あるイルミネーションを実施し、観光客の誘致を図っていく。
		1日当たりの名鉄太田川駅乗降客数 [人/日・↑]						(2)ひかりの観光資源創出事業 公園やイベントの魅力を高めるため、桜まつり、もみじまつりにてライトアップを実施するとともに、聚楽園大仏のライトアップも実施した。今後も各種イベントに合わせてライトアップ等を実施し、イベントなどの魅力を高めていく。
③	商工業者への支援	市内事業所の従業者数 [人・↑]						
	次世代産業の振興、企業の立地や中小企業等の再投資を促進するとともに、相談体制の充実や金銭的負担の軽減により新規創業を促す。また、事業所の経営基盤の強化や魅力ある商業店舗づくりを支援することで、雇用の創出及びまちのにぎわいづくりを図る。	16,754	17,394	17,327	17,298	16,867		(1)企業立地交付金 企業の立地を促進するため、市内に工場等の新設又は工場等若しくは償却資産の再投資をする企業に対して交付金を交付した（3件）。今後も制度のPR等を行い企業立地を推進していく。
		主に市内の商店などで買い物やサービスを利用している人の割合 [%・↑]						(2)創業支援事業 市内での新規創業を促進し、地域経済の発展を図るため、市主催の創業者支援セミナー（3日間）を開催した。また、創業希望者等に対しては、別途、創業相談（12回）を実施するなど、今後も創業に関するサポートを実施することにより、市内での新規創業を促進する。
④	魅力ある農業の推進	市内の農産物に愛着を感じている人の割合 [%・↑]						
	地域特産物を市内外へ広く発信し、消費者の認知度向上を図る取組により、全国に通用する農作物を育成するとともに、新たな地域特産物の産地化・ブランド化に向けた取組を支援する。	61.6	60.6	61.2	57.3	58.2		(1)かんきつ（夕焼け姫）苗木購入費補助事業 愛知県農業総合試験場で開発されたかんきつの新品種「夕焼け姫」を本市の地域特産品とするため、産地化・ブランド化に取り組んでいる。「東海市マルチ栽培夕焼け姫部会」の会員を対象に、苗木156本の購入費の一部を補助した。今後も普及促進のため、会員を対象に生産工程及び出荷状況に応じて補助を検討していく。
								(2)かんきつ（夕焼け姫）栽培・調査研究事業 かんきつの新品種「夕焼け姫」の品種特性を高めるため、マルチング栽培を実施した。令和5年度は船島小学校児童とともに初収穫を行い、令和6年度の初出荷に向けたPRを実施した。今後も品質の向上及びブランド化並びに安定的な生産・出荷を目指し取組を進めていく。
								(3)農業センター試験栽培トマト活用事業 農業センターが取り組む養液・炭酸ガス栽培で収穫したトマトを活用し、「農業振興」「健康づくり」「観光交流」を推進するイベントの開催及び既存イベント等への出展を行った。農業センターの多機能化による施設の魅力向上を図るため取組を進めていく。